

## ベネズエラ

### チャベス大統領圧勝

#### 失業・貧困改善で前進、

#### 中南米変革の波さらに大波

十二月三日に実施されたベネズエラの大統領選挙ではチャベス大統領が大差で当選しました。これは、約八年にわたるチャベス政権の政策が多くの国民に浸透し、大きな支持を得ていることを示しました。「チャベス大統領の政策は、私たち貧しい国民に心を寄せているものばかり。白内障の手術を無料で受けた人もいるし、私の子どもたちも無料で大学に通えるようになった。こんなに国民に優しい政府はこれまで一度もなかった。こういう政策をもつと続けてほしい」首都カラカス東部、地下鉄ペタレ駅近くの投票所。四時間も列に並んで投票を待っていた女性アン

ヘリカ・フイゲラさん(五〇)が、チャベス大統領を支持する理由をこう語りました。

三日は、二〇〇二年十二月にチャベス政権の転覆を狙う財界、親米勢力がベネズエラ最大の輸出品目である原油生産を停止する石油ストを開始した日からちょうど四年目にあたりました。ストは経済全体に深刻な打撃となりましたが、ストの終結(翌年二月)後、国営石油公社の再編を進めたチャベス政権は、原油生産量を回復するとともに、原油輸出収入を、さまざまな社会開発プログラムに活用していきましました。

無料の医療プログラムは、〇三年から〇六年九月までにのべ二億三千万回(人口の九倍)に達し、成人教育のプログラムでは、百五十五万人が読み書きを習得し、三十三万



人が初等教育を修了するなど成果を挙げています。原油価格の高騰にも支えられ、経済も順調に回復し、失業率は最悪だった〇三年の十九・二%から九・六%へと低下、国民全体、とくに貧困層の生活水準が向上してきました。

チャベス大統領は、利潤追求を第一とする資本主義の枠組みにとらわれない、国民生活向上を重視した社会改革を「二十一世紀の社会主義」と呼び、これをさらに発展させることを訴えました。

これにたいし、市場にすべてまかせればうまくいくという新自由主義推進の財界や米

国に支えられたのがロサレス候補です。チャベス政権の社会開発プログラムは継続すると公約する一方で、石油収入が途上国支援に活用され、国民生活向上は後回しだ、キューバ型の「共産主義」に向かっているなどと攻撃を繰り返しました。

しかし、こうした批判は、チャベス政権の社会開発分野での豊富な実績の前に迫力を欠きました。

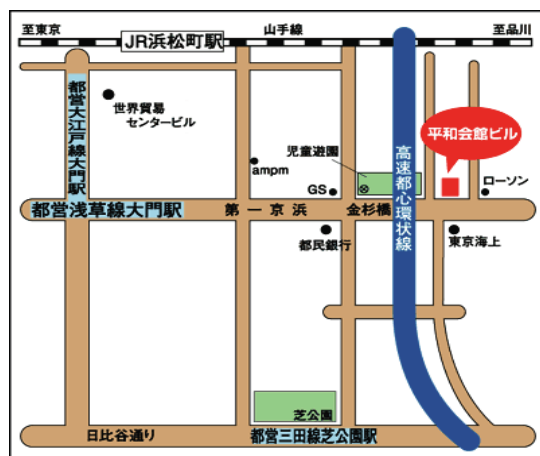
ペタレ駅からバスで二十分。山の斜面にレンガ造りの粗末な家が折り重なるように建っているカジェホン・トーレ地区では、「ロサレスや野党はいろいろいいことをいうが、彼らは金持ちや米国の代表だ。ロサレスが勝てば過去への後戻りだ」という辛らつな批判の声があふいていました。

電信柱にはチャベス候補への投票を呼びかけるポスター

に「やつらが戻るのを許さない」の文字。選挙結果はまさに、新自由主義や米国言いなりといった「過云」のベネズエラを代表する野党勢力の政権復帰にノーを突きつけたものとなりました。(二〇〇六年十二月五日付け赤旗七面より転載)

## ベネズエラどんな国

- 正式名称は、ベネズエラ・ボリバル共和国
- 人口 約2700万人 混血66%、白人22%、黒人10%、先住民2%
- 言語 スペイン語
- 宗教 カトリック教徒92%
- 面積 91万2050平方km(日本の約2.4倍)
- 首都 カラカス
- 政治体制 共和制。大統領任期6年。1院制



革新都政をつくる会は一〇月二十四日記者会見を行い、来春の東京都知事選挙で元足立区長・歯科医師の吉田万三氏を予定候補者として擁立することを発表。「石原都政を変えたい」と願う広範な団体・個人との大同団結を呼びかけました。

吉田 万三(よしだ・まんぞう)(五十九歳)  
元足立区長・歯科医師  
(革新無所属・日本共産党推薦)



革新都政をつくる会 <http://www.ny.airnet.ne.jp/kakushin/>  
〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館3階  
TEL 03-5427-5870(代表) FAX 03-5427-0016

吉田万三ホームページ <http://www.manzo-y.jp/>



## 元参議院議員秘書

たむらともこ  
**田村智子**

